

令和3年3月25日

# 学校だより 「花里の子」

令和2年度 第26号

伊丹市立花里小学校長 村上 雅博

## ま・と・め の3学期から 希望を持ち新しい学年へ ～花いっぱい 心のふる里の修了式を迎えました～

本日、今年度の修了式を迎えることができました。今の学年が修了します。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、経験したことのない大変難しい1年でした。

1学期始業式・入学式の後から5月まで長期間の臨時休業となり、ご家庭で過ごす対応をお願いし、保護者の皆様にはお世話になりました。

学校再開は分散登校からスタート。ただ、修学旅行や運動会・音楽会等の学校行事は中止で、自然学校は日帰りとなりました。子どもたちがエネルギーを発揮する場が少なくなり残念でした。

それでも、花里の子が毎日毎日笑顔で登校してくれる姿は、私の希望になりました。そして、

**ま**いにち・**と**もだちと・**め**あてにチャレンジし、自分らしく乗り越えたドラマがたくさんありました。

さらに、今年度は、50周年記念の年でした。記念式典はできませんでしたが、リレーフェスティバルや記念航空撮影、記念品（シール・バッジ・ TENT・お礼状）や子どもたちの作品も紹介された「記念誌」の作成等、実行委員の皆様とできることを創意工夫して、歴史を刻むことができました。

ご支援頂いている保護者・地域の皆様には、今年度1年を通しまして、本校教育推進にご支援を賜り、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、明日から春休みです。この時期は、ややもすると気持ちが浮つきがちになります。漢字や計算等の基礎・基本の学習のおさらいなど、これまでの学年のま・と・めをしてください。また、学用品等については、補充や記名を確認して、スムーズに新しい学年が迎えられますよう、お子様と一緒に準備をお願いします。

4月には、子どもたちが元気に笑顔で集ってもらえるように祈っています。

今後とも、ご理解とご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 「のびるちから」と「修了証」を渡しました。

「のびるちから」には、学校生活でキラリと輝く姿や励まし等が記されています。各担任・担当教員からの熱い願いが込められた最高のメッセージです。

また、「修了証」は、コロナ禍の1年間の学年を乗り越えられた証です。

ご家庭の皆様には、子どもたちと一緒に見ながら、今学年でがんばったことをたくさんほめて、励ましていただきたいと願っています。

難しい状況が続く新型コロナウイルスについてお願い

- ①春休み中もお子様の健康観察には、引き続きご協力をお願いします。
- ②マスク・手洗い・消毒の徹底等の感染予防については、ご家庭でもご留意ください。
- ③お子様や同居のご家族の方が、濃厚接触者になった場合や検査を受けられる場合などは、電話連絡をお願いします。 花里小学校 072-781-6451

## 【学校運営協議会 学校関係者評価について】

3月20日、今年度最後の学校運営協議会を開催しました。ここでは、保護者・高学年児童・教職員のアンケート結果等から、今年度の学校教育全般の成果と課題や来年度に向けての取組等をまとめた資料を提示し説明しました。それに対して、学校運営協議会委員の皆様から概ね肯定的な評価をいただきとともに、さらに改善するために下のようなご意見やご提言をいただきました。

今後は、課題解決に向け、学校・保護者・地域住民が各々取り組めることを考え協議し、実行に移していこうとなりました。

- ◎コロナ禍で感染対策や制限が多い中での学校運営を、**家庭の協力を得ながら、先生方の真摯な取組や創意工夫された授業作り等が理解と成果につながっている。**
- ◎コロナ禍の大変な時だからこそ、子どもとのつながりを見つめ直していきたい。**子どもの良い面を認め、自尊感情を高めることが、次への意欲につながる。**今の取組を引き続き実施してもらいたい。
- ◎リレーフェスティバルでは、どの子も満足感を味わっていた。6年生の「ヨサコイ」は見ている方にも充実感が伝わり感動した。リレーや縄跳び等を、放課後に家の近くで練習している子もいた。
- ◎「**学校に来るのが楽しい**」の目標は達成できており、一番大事にしたい。一方で不安を抱えている子もいる。**100%を目指してほしい。**
- ◎学校だより・学校ホームページで情報の積極的な発信が見られて良かった。また、コロナ禍で授業参観等がないので、**PTA広報誌で、学校の取組や子どもたちの様子を分かりやすく伝えられており、高い評価を得た。**継続と更なる充実を期待する。
- ◎**災害や防犯の目標は達成できているが、意識を高めるための活動や、家庭で取り組める機会等をさらに増やして欲しい。**

△児童の満足度は高いが、肯定的ではない児童の意見等も大切に**して対策を講じることで、更に良くなる**と期待できる。**一人も取り残さない心で、誰も置き去りにしない取組が大切である。**

コロナ禍で、家にもりがちや生活習慣の変化が気になる。評価の低い項目は、生活習慣や学習習慣の変化が原因の一つではないかと感じる。**学校と家庭・地域との連携が重要である。**

△先生が工夫してわかる授業に努めているので、児童も楽しく学んでいることが分かる。学力向上は、教員の頑張りとともに、**CRT調査など、客観的な評価を基に改善を図ることが大切である。**

△楽しみながら本に親しめる機会（読書祭り・ビブリオバトル・帯巾等）もあるが、読書時間の増加等につながっていない。子どもたちに読書をする意味を更に教えることや、親子で絵本を読む等も推進してほしい。**読書習慣改善の取組や環境の創出を、学校・家庭・ボランティアが連携して考えたい。**

△ipadを活用するため、児童の興味関心を高められるような授業や仕組みとともに、**家庭のデジタル環境の違いを改善する手立ても必要である。**

△**家庭学習の改善のため、学校は①学年の家庭学習目標時間に応じた適切な課題の量、②意味のある宿題を増やすこと**に取り組む。また、**家庭での学習環境の整備も大切であり、保護者を含めた意識向上のため、保護者への情報発信等も進めていく。**

△**いじめについては、今後も未然防止や早期対応等、個々にきめ細やかに取り組んでほしい。**

なお、今年度の学校評価の総括は、本校のホームページにアップする予定です。ご覧いただければ幸いです。